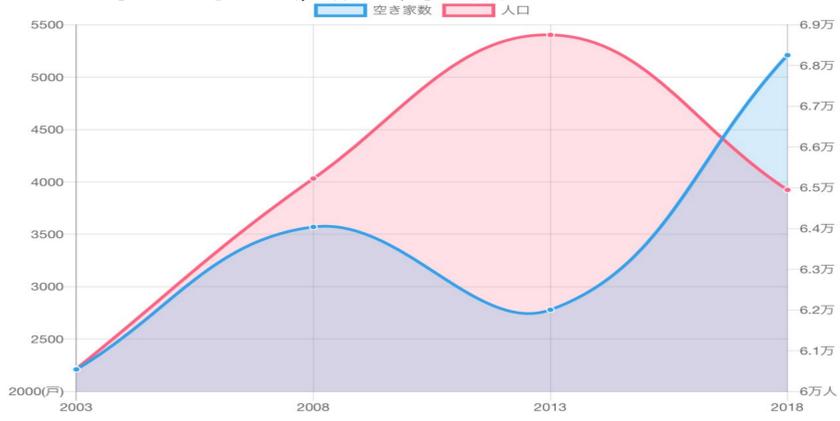


空き家を有効活用するにはどうすれば良いか

5602A班

I 序論

気仙沼の空き家の年々増加傾向
⇒東日本大震災、高齢化



1) 空き家と人口の比較図(Graph To Chart)
ピンク:人口 水色:空家数

仮説: 空き家を活用し、働き手を増やす

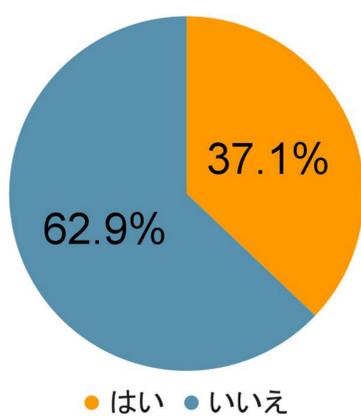
⇒空き家を減らせるのではないか

II 本論

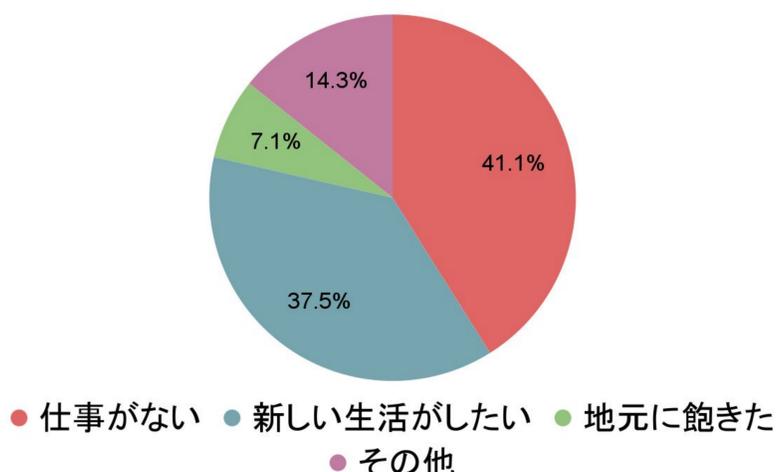
根拠1 時代に合った業種が少ない

気仙沼高校生89人にアンケートを実施。

(1) 将来気仙沼市で生活しようと思うか



(1)における気仙沼市に住まない理由



根拠2 空き家活用のメリット

市内でのフィールドワークで情報を集めた。

1 新しく家を見て、事業を始めるより、空き家を活用して行った方が費用がかからない

▼ コロナ禍や仕事の多様性により、リモートワークをする人が増えている

wifi設備の整った施設の需要↑

2 空き家をリフォーム・リノベーションして、物件の状態を良くしておくことで、物件の価値を上げることができる

3 民宿としての利用ができる

⇒「古民家宿」として観光客を呼び込むことができる

※1 K様
2 ハウスみかえる様 より

III 結論・まとめ

東日本大震災や新型コロナウイルスにより社会が変化

(在宅ワークや業種にあった環境の需要)

wifiの整備など業種に合った環境が整備された場を空き家を活用して提供する。

⇒空き家が減り、街が活性化

IV 課題

今後の課題は空き家が減って活性化した街を廃らせないためにはどのような取り組みが必要かを調べる。

参考

画像引用: 1) Graph To Chart
ご協力: (株)ハウスみかえる様
一般社団法人まるオフィス K様